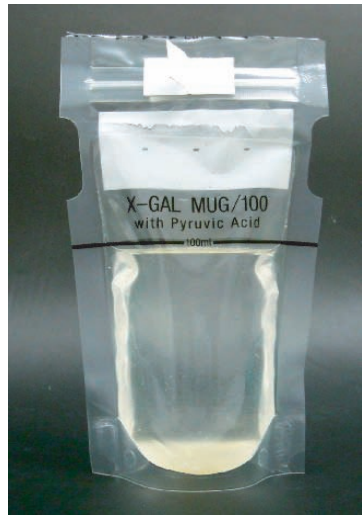


ピルビン酸加XGal-MUG培地 / 100

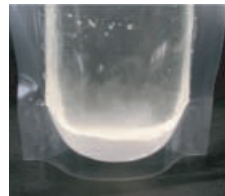
粉末培地の溶かし方について

粉末は溶けきらなくても心配はありません。

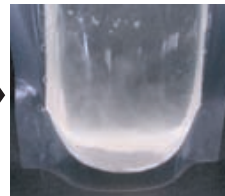
- ★ 下図のように時間が経つと完全に溶けきります。
- ★ 袋を振る必要はありません。
- ★ お急ぎの場合は下図のように指先で軽く揉みほぐしてください。



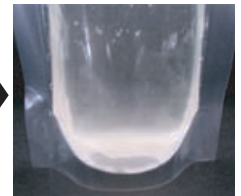
検水(水道水)を加えて静置



検水を入れた直後



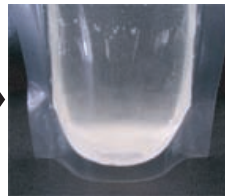
1分後
(少しずつ溶け出しました)



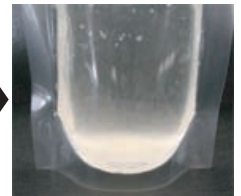
2分後



3分後

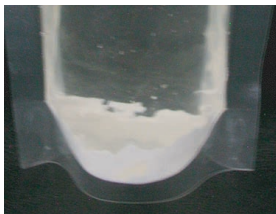


4分後



5分後

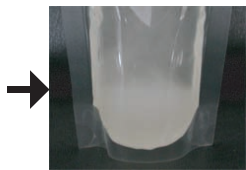
検水(水道水)を加え、手で馴染ませる



検水を入れた直後の状態



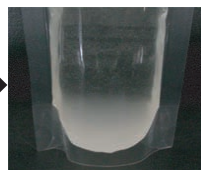
手で袋の下部を軽く揉み
粉末と検水を馴染ませる



1分後



2分後
(粉末は殆ど溶けました)



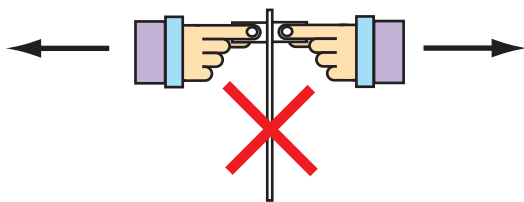
3分後

●溶けた培地が沈殿してる時は

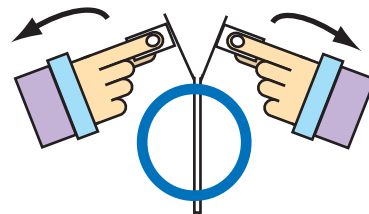


(上) チャック部を折り返して、しっかりと摘み
(下) このように一度、上下を反転させて下さい

上手く開封するための注意



真横に引いて開けようとした場合、チャック部分が固くて開けにくいことがあります。
また力を入れすぎると開いた瞬間に勢い余って、中の粉末が飛び出る恐れがあります。



真横ではなく、斜め下に引っ張るような感覚で開けて頂くと、少ない力で簡単に開ける事が出来ます。

※図は商品を真横から見た状態です

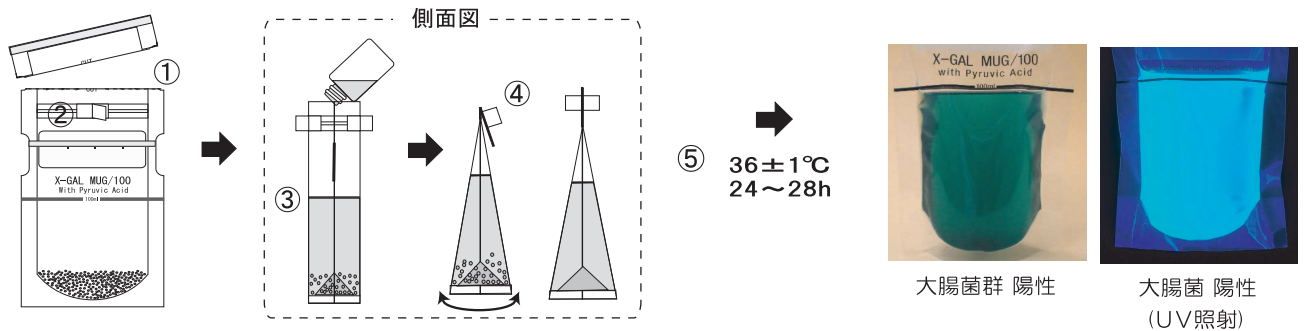
(CB) ピルビン酸加 **XGal-MUG培地/100** (水質検査用)

改訂水質基準・厚生労働省告示261号 別表第2「特定酵素基質培地法」に記載のピルビン酸添加XGal-MUG培地

● 特長

- ・約4.5gの軽量バッグで、取り扱いが容易、小スペース保管、廃棄時の環境負荷を軽減!
- ・粉末培地入りの自立型バッグで、被検水を入れて粉末培地を溶解するだけで手間いらず!
- ・判定は24時間で水質細菌検査の迅速化に有用!

● 使用法



- ① 切り取り線から開封します。(リニア加工で手で真っ直ぐに切れませ)
- ② 表と裏のオープナータブを静かに引っ張り袋を開けます。
- ③ 100m l の目安線まで被検水を注入します。(袋の底が拡がり安定した自立性が得られます)
- ④ チャックを閉じて5分程度静置してから、袋上部を折り曲げて袋を軽く振ると粉末が簡単に溶けます。(溶解の際には培地がこぼれないようご注意ください)
- ⑤ 36±1°Cで24~28時間培養します。(転倒予防のため、平らな面に立てた状態で静置して下さい)

● 判定方法

培養後、培地色が青緑~青色に呈色していれば【大腸菌群】陽性と判定、さらに全ての培地(色調の変化が見られなかった培地も含め)に紫外線(λ=366nm)を照射して蛍光発光したものを【大腸菌】陽性とします。

● 注意事項

- ・開口部のチャックだけでは液漏れを完全に防げませんので輸送容器の代替には適しません。また、培養時には倒れないような措置を必ず行って下さい。
- ・ご使用後はオートクレーブ滅菌(121°Cで15~20分)等を行ってから廃棄して下さい。(廃棄は、一般産業廃棄物または所在地の自治体で定められた方法で行って下さい)
- ・アルミ袋開封後の未使用製品は、元のアルミ袋に戻してチャックを閉じて保管して下さい。湿気により培地粉が固まった場合は使用しないで下さい。
- ・保管の際は高温・多湿・直射日光を避けて暗所(1~30°C)で保存して下さい。
- ・有効期限はアルミ袋未開封で製造日より1年間です。開封後は早めにご使用下さい。

● 組成

1000ml中	
ペプトン	5.0g
塩化ナトリウム	5.0g
ピルビン酸ナトリウム	1.0g
硝酸カリウム	1.0g
リン酸一水素カリウム	4.0g
リン酸二水素カリウム	1.0g
ラウリル硫酸ナトリウム	0.1g
4-メチルウンベリフェリル-β-D-グルクロシド	100mg
5-プロモ-4-クロロ-3-インドリル-β-D-ガラクトピラノシド	100mg
イソプロピル-1-チオ-β-D-ガラクトピラノシド	100mg

株式会社 日研生物



〒613-0046 京都府久世郡久御山町大橋辺堤外縁2.3番地
TEL (075)631-6187 FAX (075)632-0367